

(様式2(1))

事業所名 シニアライフコート潮芦屋 グループホーム きぼう

目標達成計画

作成日: 平成 26 年 5 月 2 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	8	年間研修計画等に取り入れ、必要背うについての話し合いや利用時には活用できるようにすべての職員が精度について学ぶ機会を持つことが望まれる。また、身体高速・虐待防止等についても定期的に研修を実施する事が望ましい。	成年後見制度、権利擁護、身体拘束、虐待防止等の研修や具体的な介護技術、認知症についての知識を向上させるための研修などを組み込み、年間の研修計画を作成する。	外部研修への参加や事業所内での研修を開催し理解を深め、また必要時に役立つような利用方法内容などのマニュアルを作成していく。	12ヶ月
2	26	状況や意向の変化をミニカンファレンスで検討しているが、すべての利用者について、概ね1ヶ月に1回程度予防的観点も含め介護計画の内容を確認する事が望まれる。	モニタリングを1ヶ月ごとに実施していく。	1ヶ月ごとにフロアー内カンファレンスを開催し各利用者毎に介護計画に沿って現状や問題点を話し合い内容に変化がないか確認していく。記録用紙を変更し介護計画に関する特記事項をまとめておきやすくする。	6ヶ月
3	35	夜間想定等最大リスクを想定した火災に対する実践的な訓練を、定期的実施し、全職員が利用者を避難できる方法を身につけておくことが期待される。また、災害時の地域への協力の呼びかけが望まれる。	災害に対する訓練を年間の行事として取り入れ職員全員が理解を深める。	年2回は夜間想定避難訓練を実施していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。